

平成28年度 南魚沼郡市道徳部 活動報告

部長 須藤 高志

1 研究主題

- (1) 主題名 道徳的判断力を高める授業の工夫
～考える道徳・議論する道徳をめざして～
- (2) 主題設定の理由

「特別の教科道徳」の本格実施を2年後に控え、昨年度から「道徳」の時間の授業改善の取組を進めてきた。今年度は、文部科学省の「道徳教育の抜本的改善・充実」に示された『「考え、議論する」道徳科への転換により、児童生徒の道徳性を育む』を受け止め、授業改善を交流する取組をさらに進めることとした。

2 研究の概要

- (1) 8月8日(月) 学習指導センター研修「特別の教科道徳 授業と評価」に参加
- (2) 8月19日(金) 授業づくりについての研修会：道徳授業に関するグループ討議による情報交換(大和公民館)
- (3) 11月18日(金) 授業研修会(塩沢小学校と共催)

3 研究の実際

- (1) 南魚沼市学習指導センター道徳研修講座「特別の教科道徳 授業と評価」への参加
中越教育事務所学校支援第2課の廣田芳宏課長から、小学校での本格実施を1年半後に控えて、授業改善の進め方について講義を受けた。
塩沢小学校の岩沢勝主幹教諭から、塩沢小学校での道徳授業の改善についての実践発表を聴き、研究主題の副題である「考える道徳・議論する道徳」について学びを深めた。
- (2) 授業づくりについての研修会：道徳授業に関するグループ討議による情報交換
道徳部員が各校での実践事例レポートを持ち寄り、グループごとに発表し学び合った。自校の実践と比較しながら、授業改善への道筋を考えることが出来た。
- (3) 授業研修会(塩沢小学校と共催)
塩沢小学校で公開授業と授業協議会、講演会を共催で実施した。公開授業(1年生、3年生、5年生)をもとに「考え、議論する道徳授業の工夫について」を協議題として授業協議を行った。全体会では、新潟青陵大学の中野啓明教授から「特別の教科道徳 先行実施で何をすべきか」の講義を受けた。教科書採択を受け、学校の指導計画を作成するに当たっての留意点や評価の在り方などについて、多くのことを学ぶことが出来た。

4 成果と課題

教科書採択がなされていない時点において、道徳の教科化に向けて各学校で準備を進めることは、授業改善の取組である。学習指導要領「道徳」の目標である「道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことを目指し、すべての児童が主体的に考え、議論する道徳の授業実践を積み重ねる必要がある。

そのために、学校現場で今年度7月22日に示された「特別の教科道徳の指導法・評価について(報告)」(道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議)の内容についての理解を深めなければならない。次年度は、検定教科書の採択を受け、指導計画を作成する段階に入る。さらなる授業改善の交流を進めながら、実践的な指導計画づくりを進めて行く。